

Aiming To Be
'Aomori : The Place People Choose'

青森県基本計画

「選ばれる青森」 への挑戦

支え合い、共に生きる

Aomori Prefectural Government Master Plan
2020 | プロモーション編



「選ばれる青森」をめざして

私たちの祖先は、1万年以上にわたり、この青森の地で豊かな自然と共生しながら、縄文文化を営んでいました。時は流れ、グローバル化やAI、IoTの進展など、今、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。そして、人口減少という大きな課題が立ちはだかる一方で、青森県も確実に変わってきています。例えば、県産品は国内外で高く評価され、街を歩けば数多くの外国人旅行者に出会うようになりました。県の調査では半数以上の県民が「5年前と比べて青森県のイメージが良くなってきた」と感じています。明るい未来につながる希望の光は、そこかしこに輝いています。先人たちが、気候変動や自然環境の変化に柔軟に適応し、家族や仲間とともにたくましく生きてきたように、今を生きる私たちも、お互いに支え合い、国内外から選ばれる、そして世界に誇ることができる青森県をめざして、共に歩んでいきましょう。

Aiming To Be 'Aomori : The Place People Choose'

2030年のめざす姿 「生活創造社会」の実現

青森県基本計画 「選ばれる青森」への挑戦

青森県の「多様性」と「可能性」を示しながら
持続可能な青森県づくりをめざします。

人口減少克服

最重要
課題

- ▶ 未来への危機感をしっかりと持って取り組みます。
- ▶ 過度な悲観論に陥らず、勇気を持って未来にチャレンジします。

青森県を取り巻く環境の変化

人口減少 少子化 超高齢化 労働力不足 AI・IoTの進化・・・

青森県基本計画 「選ばれる青森」への挑戦

支え合い、共に生きる

県行政運営の基本方針 県行政全般に係る政策・施策の基本的な方向性について総合的かつ体系的に示した県行政運営の基本方針

計画の期間 5年間 2019～2023年度

選ばれる青森

- 若者や女性の皆さんから、学ぶ場所・働く場所・生きる場所として「選ばれる青森」
- 農林水産品や観光、北海道・北東北の縄文遺跡群など、様々な分野での青森県の価値が国内外から「選ばれる青森」をめざしていく、という意味があります。

支え合い、共に生きる

2025年の超高齢化時代の到来を見据え、地域におけるつながりや助け合いを大切にしていける、という意味があります。

CONTENTS

- p01 「選ばれる青森」をめざして
- p03 青森県の人口の推移
- p05 大きな課題と取組の方向性
- p07 これまでの取組の成果
- p11 2030年の青森県のめざす姿
- p13 戦略プロジェクトの取組
- p23 分野ごとの取組
- p25 地域県民局の取組
- p31 ～Local to World～
世界から「選ばれる青森」をめざして

「プロモーション編」とは

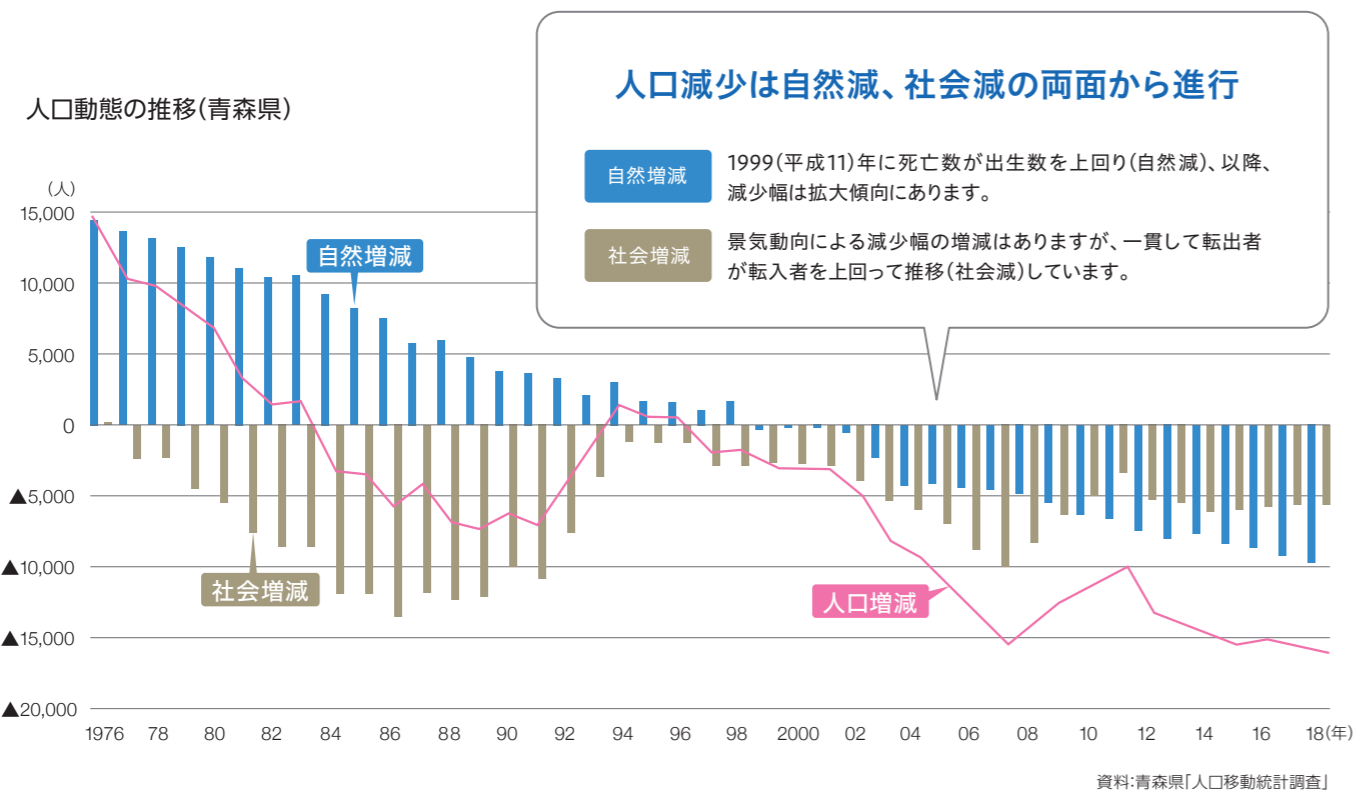
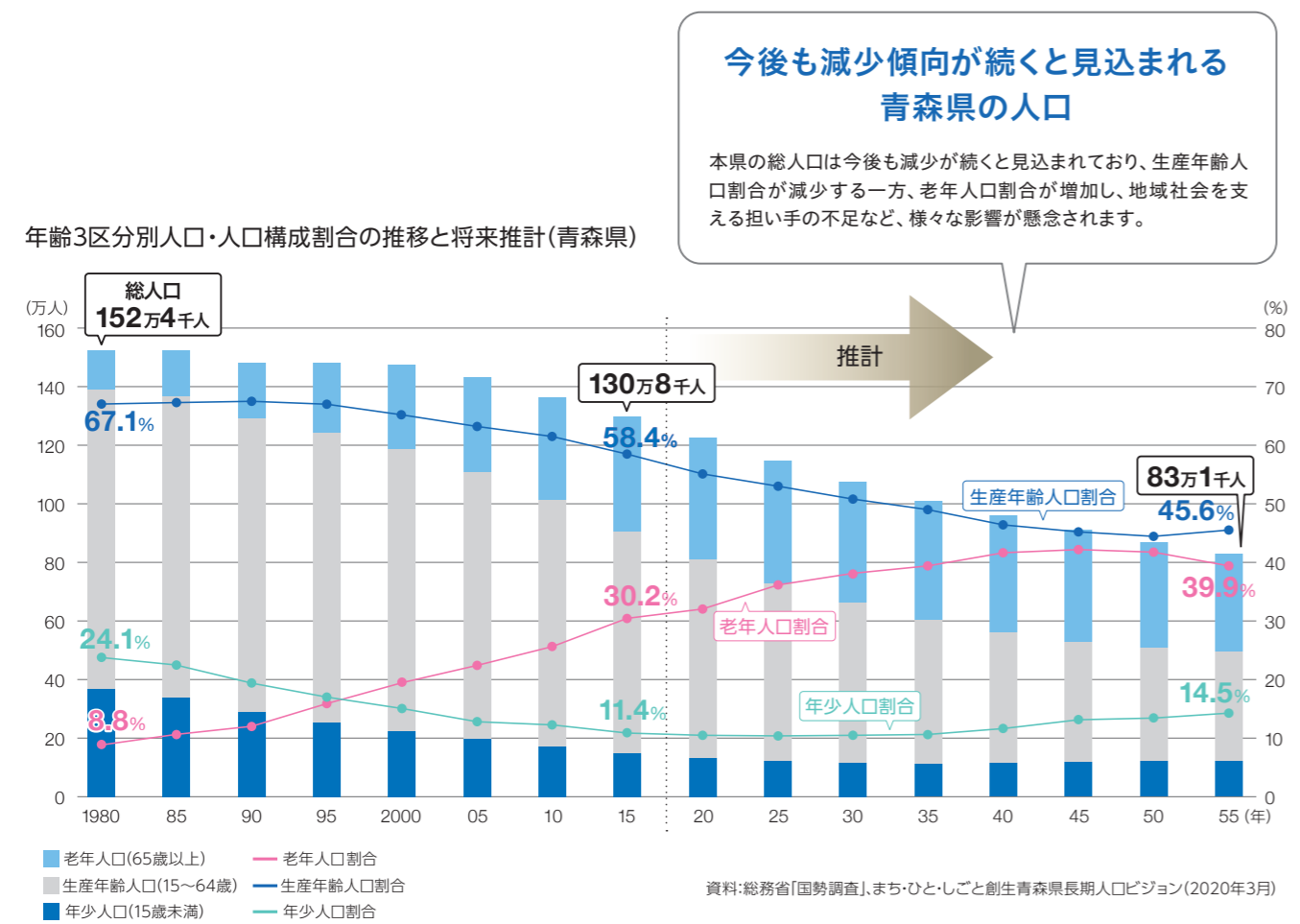
「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」に基づく取組などをわかりやすく紹介するため毎年度作成している冊子です。

ロゴマークのコンセプト

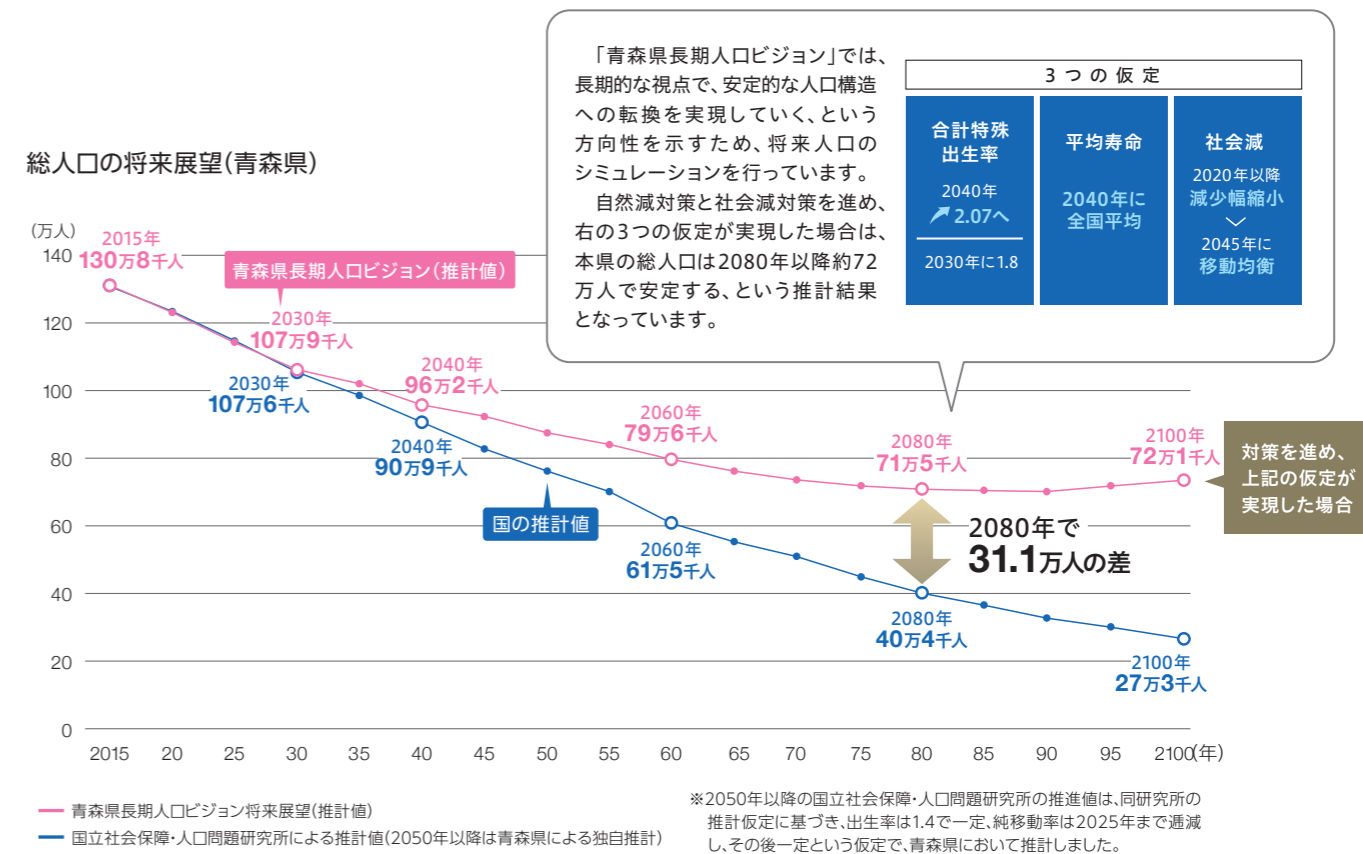
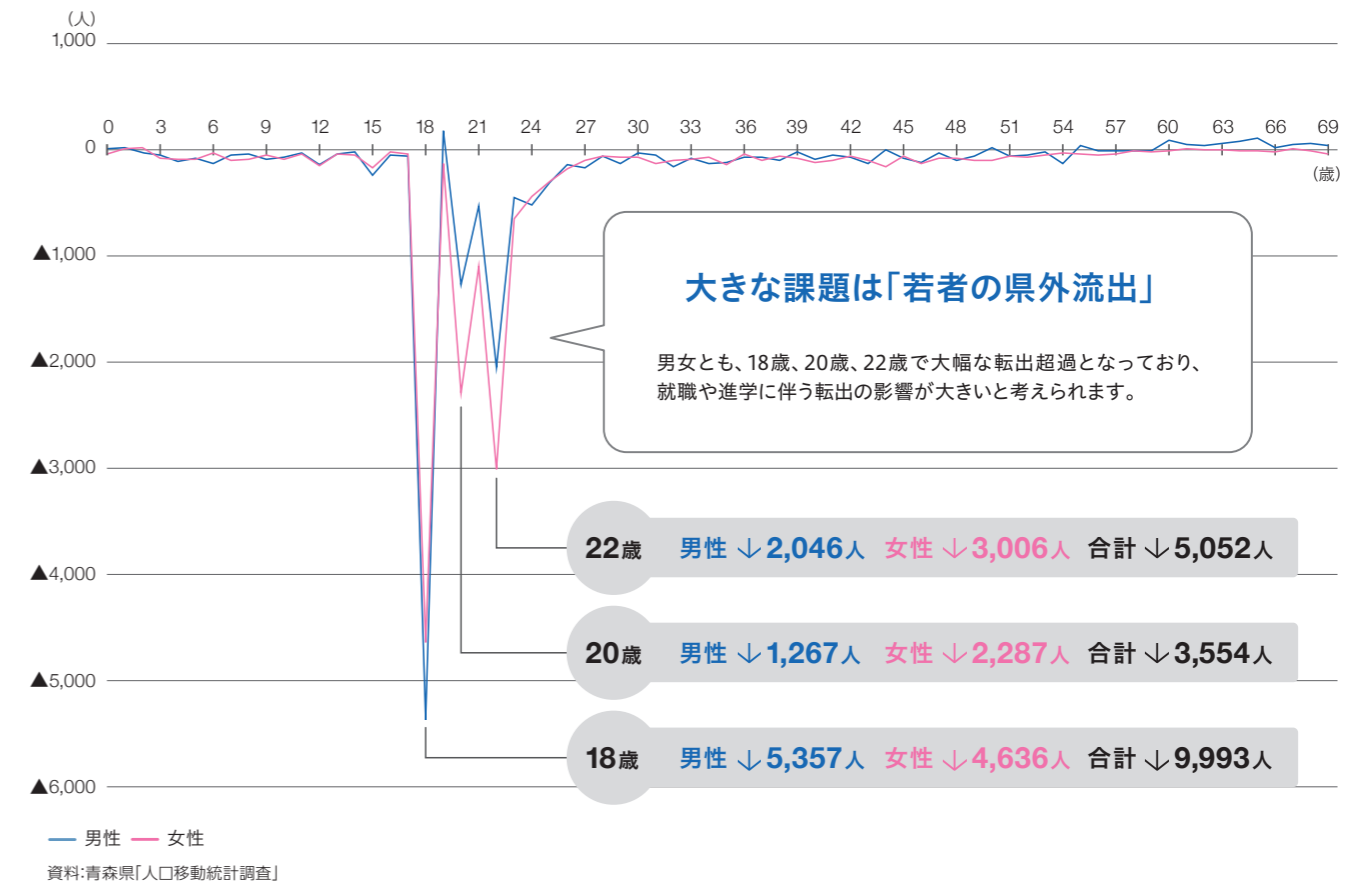
“Aomori”のAをモチーフに、これらが中心に向かって集まる様子をデザインし、青森県に人やモノが集まり、「選ばれる青森」を実現していく、というメッセージを表現するとともに、県民が持てる力を結集し、支え合うイメージも表現しています。



青森県の人口の推移



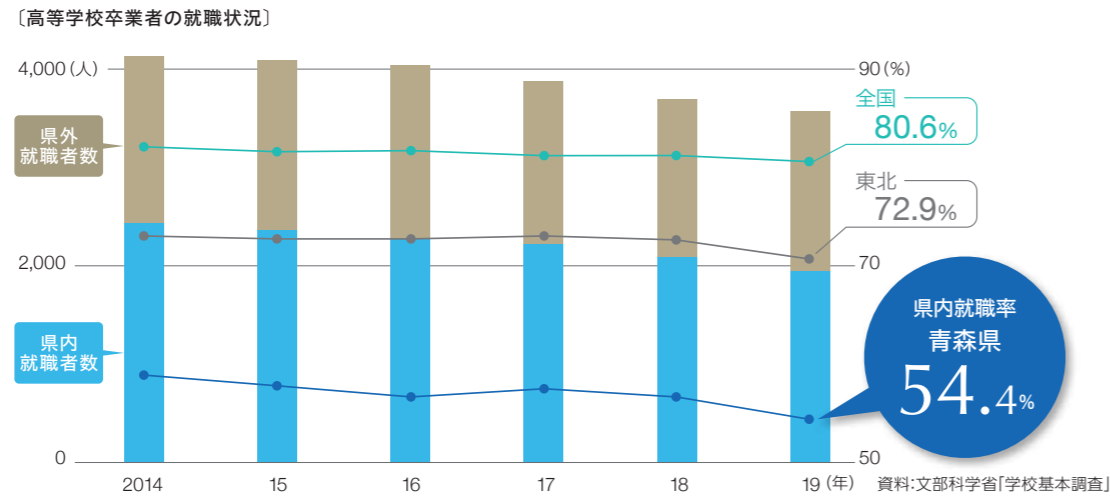
年齢別社会増減数 (2013年10月~2018年9月、青森県)



大きな課題と取組の方向性

課題1 若者の県外流出

進学や就職を契機とした若者・女性の県外流出に歯止めがかかっていない状況



若者の県内定着や還流を促進していくためには、
「経済を回す」仕組みづくりの充実・強化と
多様で魅力ある「しごと」の創出が重要

学生、保護者、教員など各ターゲットに応じて
青森県の「しごと」と「暮らし」の魅力を
しっかりと伝えていくことが必要

経済を回す

人口減少社会にあっても、
持続可能な地域づくりを着実に
進めていくため、地域において
魅力ある「しごと」をつくり
多様な雇用を生み出し
そこで生まれた収入を
地域経済の中でしっかりと
回していく「経済を回す」
仕組みづくりを進めます。

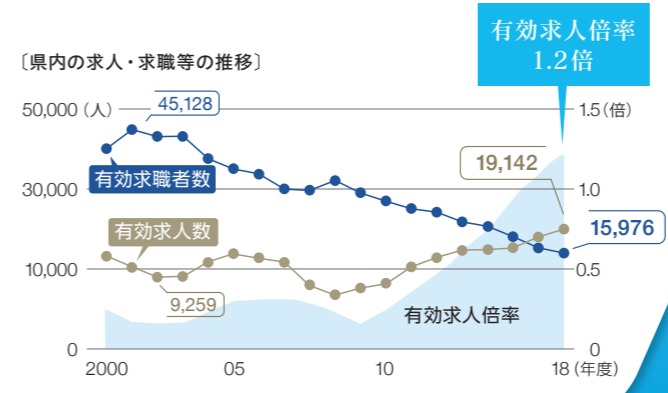


世界へ 打って出る ~Local to World~

グローバル化の進展を見据え
これまで以上に世界を視野に入れ
「攻めの姿勢」で
取り組みます。

課題2 人手不足と労働生産性の向上

- 多くの産業分野で慢性的な人手不足が顕在化
- 労働力の適正配分と、労働生産性の向上が重要



資料：厚生労働省「職業安定業務統計」により作成。

「人財確保」と「生産性向上」の
両面から取り組みます

> 労働力不足への対応

- 若者の県内定着、人財還流を促進します。
- 女性、高齢者など、誰もが多様な働き方ができる環境づくりを進めます。
- AIやIoTなど革新技術を活用した省力化や生産性の向上に取り組みます。

課題3 2025年超高齢化時代への対応

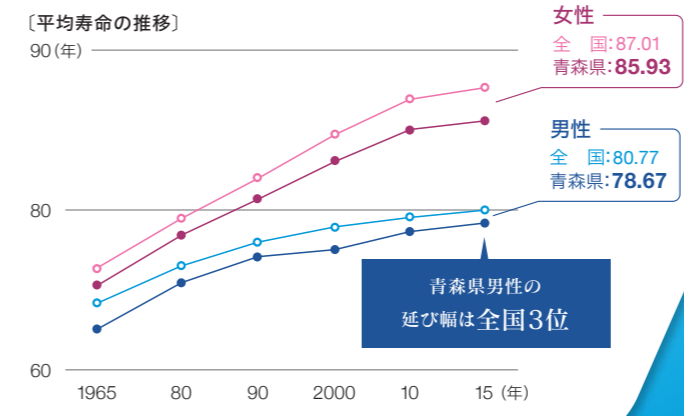
- 2025年には団塊の世代が全て後期高齢者となり、経験したことのない超高齢化時代を迎えることに
- 保健・医療・福祉体制の一層の充実、交通・買物・食事といった生活機能の維持・確保が課題

> 「青森県型地域共生社会」の実現

- 2025年の超高齢化時代を見据え、県民の誰もが地域で生まれ、地域で育ち、地域を助け、地域で安心して老後を迎えることができる社会の実現をめざします。

課題4 平均寿命・健康寿命の延伸

- 本県の平均寿命は都道府県別では男女とも最下位ながら、着実に延伸
- 平均寿命とともに、健康に日常生活を送ることができる「健康寿命」延伸に向けた取組も重要



健康でいきいきと暮らせるように



> 県民の健康づくり

- 平均寿命・健康寿命の延伸に向け、県民の健康意識向上に取り組みます。
- 働き盛り世代を始め、各年代のライフスタイルに応じた生活習慣改善、健診等受診率の向上などに取り組みます。

これまでの取組の成果

「経済を回す」仕組みづくりを進め、具体的な成果が着実に現れてきています。

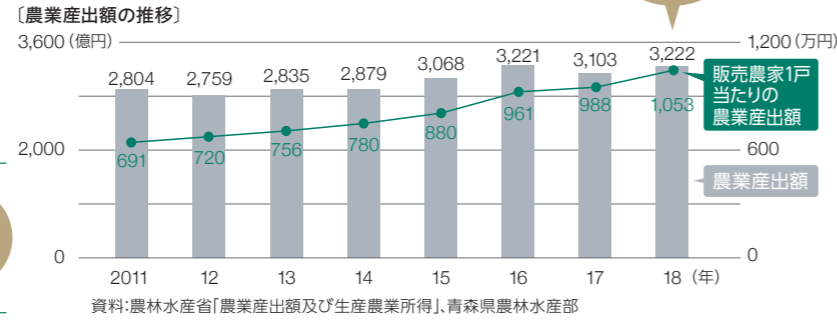
成長し続ける農林水産業

～青森県の豊かさを支える生業～

農業産出額

3千億円突破

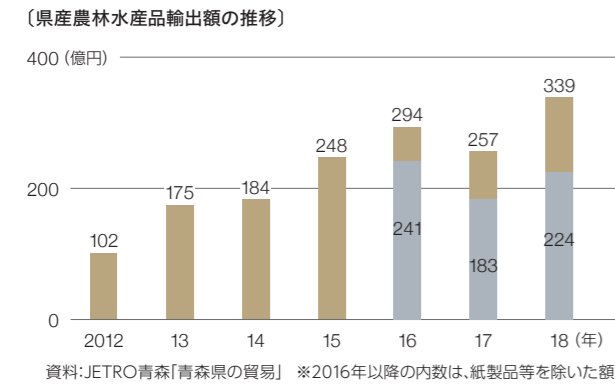
4年連続



県産農林水産品輸出額

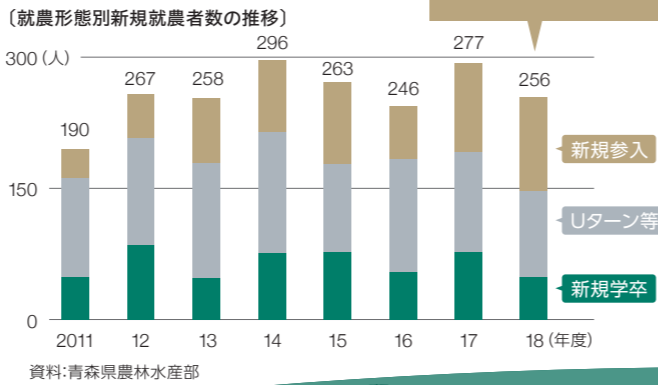
2百億円突破

4年連続



農業で食べていける青森県

だからこそ新規就農者が増えています



さらに広がる国内外とのネットワーク



海外からの観光客が どんどん増加しています!

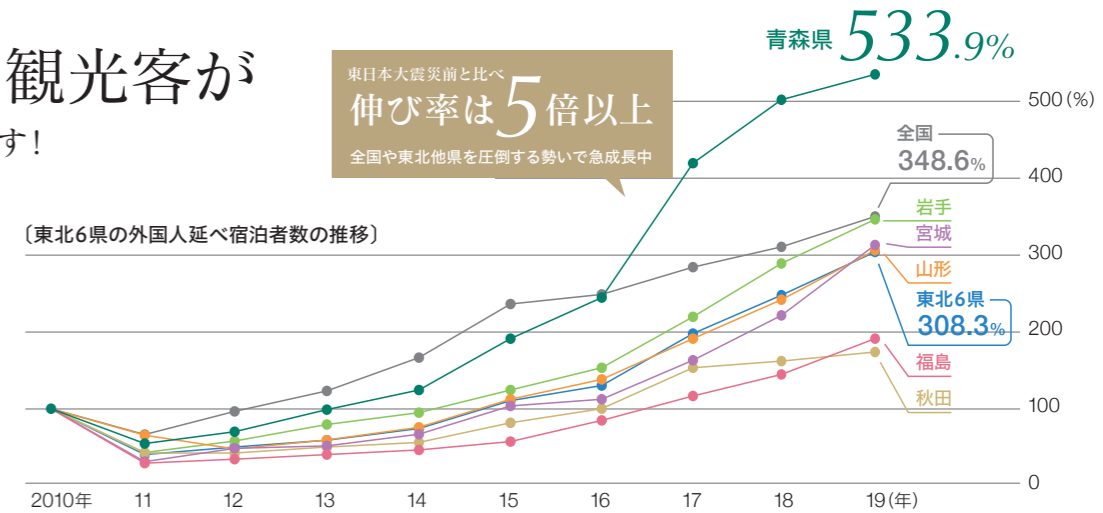
外国人延べ宿泊者数

2013年 5.7万人泊 → 2019年(速報値) 31.6万人泊

観光消費額

2013年 1,478億円 → 2018年 1,902億円

〔東北6県の外国人延べ宿泊者数の推移〕



西日本での新たな店舗展開など

A! Premiumから広がる可能性は無限大!

Local to World

A! Premiumのサービス
エー・プレミアム

- Point 1 翌日午前中配達エリアを大幅に拡大し 西日本への販路構築を支援
- Point 2 鮮度、品質を維持したスピード小口輸送の 365日運行により継続取引を支援

Local to Local

早さと鮮度を武器に
国内外に続々と
販路拡大中! **物流革命**

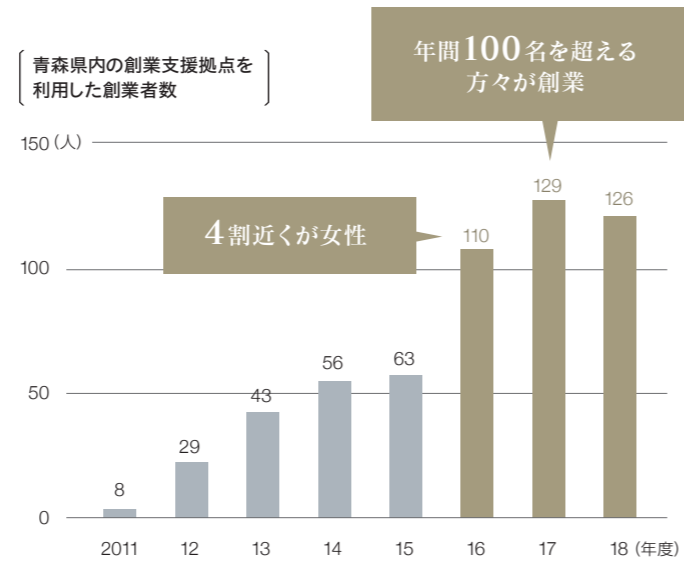
A! Premium

若者や女性の皆さんから、 働く場所・生きる場所として「選ばれる青森」へ

青森だから叶えられる、 魅力的で多様な働き方

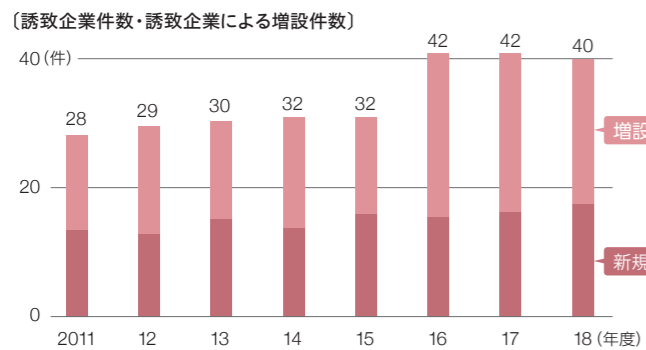
「青森県だとできない」から
「青森県だからチャレンジできる」
時代に!

【県内の創業・起業の例】 エステ、カフェ、レストラン、ジュエリーショップ、ダンススタジオ、愛犬トリマー、広告デザイン…etc.



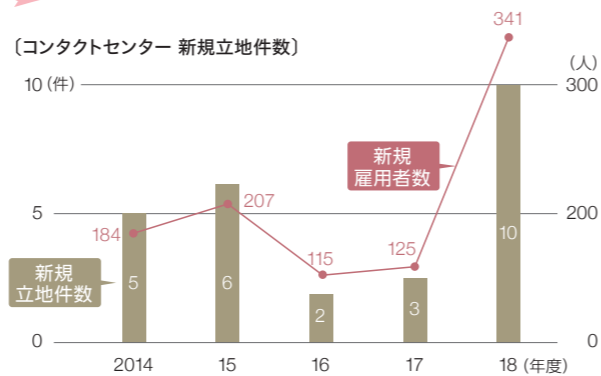
戦略的企業誘致による 多様な雇用創出

若者にとって魅力ある・質の高い
雇用の創出に取り組んでいます。



近年はコンタクトセンター※など
非製造業の誘致が進んでいます。

※電話応対業務に加え、Web、メールなど複数のチャネルで顧客対応を行う部署・部門。



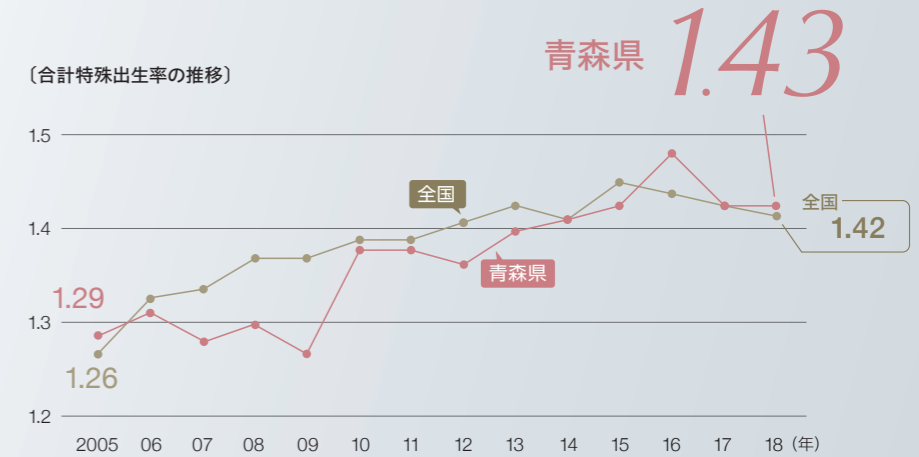
地域を支える人財の活躍



環境意識の高まり

子どもを 産み育てやすい青森県

- ▶ 青森県の合計特殊出生率は改善傾向にあり、近年は全国値を上回っています。
- ▶ 待機児童数・延長保育など、様々な指標からも、青森県は働きながら子育てをしていく上で、大変恵まれた環境にあることがわかります。
- ▶ 多様な生き方にチャレンジできる環境の中で、多くの女性が活躍しています。



安心して子どもを
産み育てられる
「最適の地」

待機児童数 0 ゼロ 全国 1位 (2019年4月現在)	認定こども園 認可・認定件数* 全国 1位 (2019年4月現在)	延長保育 実施施設数* 全国 1位 (2017年度)
※0~5歳人口1万人当たり		※6歳未満の子がいる千世帯当たり

女性がきらめく青森県

女性社長が多い	女性社長比率 全国 1位 青森県: 10.7% 全国平均: 7.9% (2019年4月末現在) 出典: (株)帝国データバンク「全国・女性社長分析(2019年)」
仕事と育児を 両立できる	女性有業者のうち 育児をしている者の 割合(20代女性) 全国 4位 青森県: 17.7% 全国平均: 10.3% 出典: 平成29年就業構造基本調査(総務省統計局)
出産・育児を理由に 離職した女性の 割合が低い	全国 7位 青森県: 5.3% 全国平均: 6.9% 出典: 平成29年就業構造基本調査(総務省統計局)

2030年の青森県のめざす姿

「生業」と「生活」が好循環する地域へ
～世界が認める「青森ブランド」の確立～

2030年の青森県のめざす姿

生活創造社会



めざす姿(青森ブランド)の具体像

「買ってよし、訪れてよし、住んでよし」の青森県

様々な分野の「生業」と「生活」が生み出す価値が一体となって世界から評価され、県民自身もその価値を誇りに思い、存分に享受している状態

買ってよし

ビジネス対象としての価値

製品の質や勤勉な県民性が高く評価され、県産品を購入したい、本県でビジネスを展開したいというニーズが高まる状態

訪れてよし

観光・交流対象としての価値

多様なコンテンツが高く評価され、本県を訪れてみたいというニーズが高まる状態

住んでよし

生活対象としての価値

居住や通勤環境、自然や食など、本県の暮らしやすさが高く評価され、本県に住みたいというニーズが高まる状態

めざす姿の実現に向けて

これまでの取組の成果や課題を踏まえながら、めざす姿の実現に向かってチャレンジします。

全県計画4分野

「産業・雇用」「安全・安心、健康」「環境」「教育・人づくり」の4分野を設定し、全県的な視点で取り組みます。



戦略プロジェクト

人口減少克服に向けて、4つの分野を横断し、特に重点的に取り組むべきテーマとして、本計画では5つの戦略プロジェクトを設定します。

「選ばれる青森」食と観光成長プロジェクト

- ① 食の商品力を極める
- ② 食の販売力を極める
- ③ 立体観光の推進
- ④ 観光消費の拡大

多様なしごと創出プロジェクト

- ① 魅力ある雇用の創出
- ② 多様な労働力確保
- ③ 生産性向上・働き方改革

「住みたいあおもり」若者・女性プロジェクト

- ① 高校生・大学生の県内定着促進
- ② 女性の県内定着促進
- ③ 移住・Uターン促進
- ④ 魅力ある生活環境づくり
- ⑤ 結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境づくり

未来へつなぐ「地域のゆりかご」プロジェクト

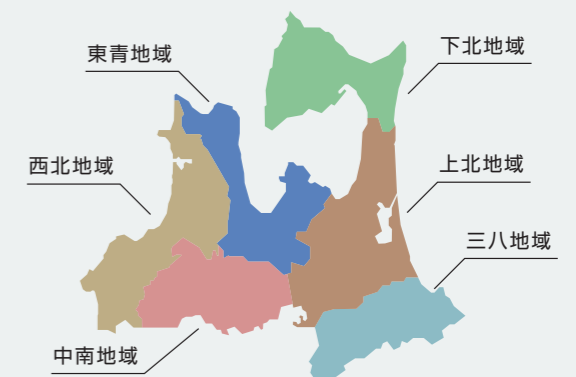
- ① 持続可能な地域づくり
- ② 保健・医療・福祉体制の充実
- ③ 交通ネットワーク形成・買物支援の推進
- ④ 多様な主体・人材の参画・協働

健康ライフ実現プロジェクト

- ① 県民の健やか力向上
- ② 「食」と「運動」で健康
- ③ こころの健康

地域別計画

県内に設置されている6つの地域県民局の圏域ごとに、各地域が置かれている状況や地域の特性を踏まえ、2030年における地域のめざす姿の実現に向けた取組の方向性を定めています。



「選ばれる青森」食と観光成長プロジェクト

「食」と「観光」で成長する青森県をめざします。

>>> 豊富な農林水産品を活用した「食」と、祭りや自然をはじめとする様々な資源を生かした「観光」は、本県の大きな強みです。

>>> 「食」と「観光」のつながりを一層強め、「経済を回す」仕組みづくりのけん引役として、更なる成長をめざします。

食の商品力を極める

県産品の認知度向上・ブランド確立に取り組みます。

デビューから5年連続で特A評価となった「青天の霹靂」、全国デビューを迎える「ジュノハート」など、高いポテンシャルを持つ県産品の認知度向上・ブランド確立に取り組みます。

新たにデビューし、ブランド化をめざす青い森 紅 サーモン、アラゲキクラゲのPRによる認知度向上や、新たな候補製品のブランド化に取り組みます。

「あおり和牛」のブランド確立に向け、販売体制の強化、肥育技術向上等による安定供給・生産拡大に取り組みます。



2019年「青天の霹靂」広告
～津軽鉄道の車窓から～



2020年に全国デビューする「ジュノハート」
～大きくて甘い、ハート形の果実～

食の販売力を極める

大手量販店等との取引拡大、西日本エリアやアジアなど国内外市場への販路拡大に取り組みます。

大手量販店とのネットワークを生かした「青森県フェア」を開催するとともに、新たな販路としてEC市場への参入に取り組みます。

「A! Premium」の活用に加え、西日本の販路に精通した専門家や地域商社を活用したセールス活動により、西日本エリアの販路開拓を強化します。

青森りんごの輸出拡大に向け、台湾・香港で構築してきた販売ネットワークを活用し、新規需要開拓のプロモーションやテストマーケティングに取り組みます。



立体観光の推進

国内・国際航空路線の充実強化、青森空港のアクセス向上などに取り組みます。

津軽海峡交流圏などの広域・周遊観光の一層の推進、国際定期便やチャーター便等の活用による誘客促進に取り組みます。

青森空港のアクセス向上のため、連絡バスの拡充、駐車場の利便性向上などに向けた検討や実証実験を行います。

観光消費の拡大

県内の多彩な魅力を発掘・創出し、観光消費の拡大につなげます。

観光で本県を訪れた方が青森の夜を楽しむことができるようなコンテンツを創出し、情報発信することで、観光滞在時間と観光消費額の拡大を図ります。

5つのアートミュージアム(青森県立美術館、国際芸術センター青森、十和田市現代美術館、弘前れんが倉庫美術館、八戸市新美術館)が連携したアートツーリズムに取り組みます。

多様なしごと創出プロジェクト

魅力ある「しごと」をつくり、
多様な働き方ができる青森県をめざします。

>>> 夢をかなえるため創業・起業にチャレンジする方々を応援するとともに、若者・女性・高齢者などの潜在的な労働力の活躍を促進します。

>>> 多様な働き方を実現できる環境づくりや働き方改革に取り組むほか、AIやIoTなど革新技術を活用した省力化・生産性向上の取組を進めます。

魅力ある雇用の創出

県内企業のAI・IoTを活用した事業展開、新たなニーズに対応したビジネス創出、海外ビジネス展開などを促進します。

県内をフィールドに、5Gなど新たなITイノベーションを活用した新ビジネス創出に向けた実証を行います。

ライフスタイルの変化に合わせた、短時間で調理可能な食品の商品開発などを支援します。

台湾での交流会や、台湾企業の技術ニーズに対応可能な県内中小企業とのマッチングなど、台湾とのビジネス交流を促進します。



青森県産業技術センター工業総合研究所 IoT開発支援棟



多様な労働力確保

誰もが多様な働き方を実現できる環境づくりや
各分野の担い手確保に向けた取組を進めます。

ワンストップによる求職者支援と企業の人財確保に向けて総合的なセンターを設置し、伴走型で県内企業と求職者のニーズをつなぎます。

女性や高齢者など多様な人財の活躍に向けた取組を展開します。

農業労働力を確保するため、農業未経験者に対する農作業研修を実施するほか、冬期間の仕事の確保などにより通年で雇用していく取組を支援します。

畜産業や漁業などの担い手を確保するため、幅広い世代に向けて情報発信を行うとともに、実際に作業を体験する機会を提供します。



農業高校生の畜産施設設計研究会



就業者フェア(漁業の魅力を紹介)

生産性向上・働き方改革

農林水産業、建設業など各産業におけるICT技術の導入や
その技術を使う担い手のスキルアップに取り組めます。

県内中小企業の「稼ぐ力」を高めるため、デジタル技術の進展に対応した経営戦略やマーケティングの実行を支援し、新商品・サービスの開発や受注獲得、販売促進につなげます。

県産米が全国の産地間競争を勝ち抜くため、ICTなど先端技術を活用して収量・品質・食味を高め、評価や収益性を向上させます。

建設業においてICTを活用できる人財を育成する体制を構築し、県内建設企業のICT施工導入を促進します。

「住みたいあおもり」若者・女性プロジェクト

学ぶ場所・働く場所・生きる場所として
「選ばれる青森」をめざします。

>> 本県の「暮らし」や「しごと」に関する情報をターゲットや段階に応じて丁寧に分かりやすく伝えていきます。

>> 魅力ある生活環境づくり、移住相談体制の充実、結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境づくりなどに取り組みます。

高校生・大学生の県内定着・還流促進

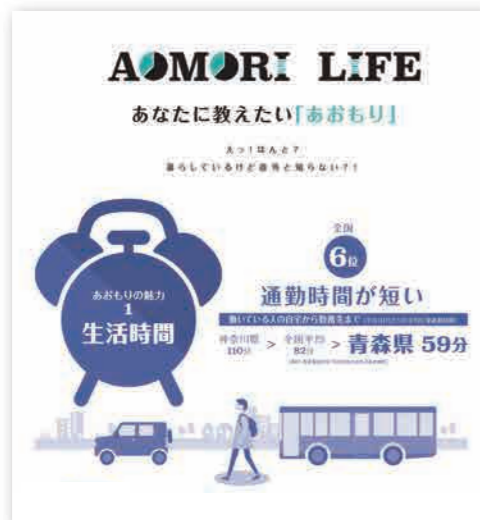
本県の「暮らし」や「しごと」について
生徒・保護者・教員・県内企業等の相互理解を促進します。

若者や保護者の方々などが、青森県の「暮らし」と「しごと」の魅力を知ることができるよう、対象に応じてきめ細かにプロモーションを行います。

若者や保護者の方々などに対し、青森県の良さや、青森県が良く変わってきていることを知る機会の提供、メディアを活用した情報発信を行います。



高校に向かいでのプロモーション活動



本県の「暮らし」と「しごと」の魅力を紹介する「アオモリドラゲナイ」



移住・Uターン促進

移住・Uターン者への効果的な情報発信や
移住者の定着に向けたサポート体制の強化など、人財還流の取組を進めます。

移住・定住に興味を持つ方が、青森県の魅力に触れ、移住するうえでの不安を解消できるよう、きめ細かに情報を発信し、手厚くサポートしていきます。

県外で暮らす本県出身者などに県内の就職情報や暮らしの情報を届け、県内企業への就職・定住につながるよう、企業PR活動の支援やSNSによる情報発信などを行います。



地元企業の情報や就活関連イベント等を紹介するアプリ「シューカツアオモリ」

魅力ある生活環境づくり

自然・文化など本県の魅力への気づきや誇りの喚起、
安全・安心で快適な生活環境の整備を進めます。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録に向けた
気運を醸成し、受入態勢を整えます。

子どもたちが、縄文文化の体験などを通じて地域への誇りと愛着を育むことができる学習プログラムを作成します。

縄文遺跡の価値や
魅力を伝える
ブックレット
(フランス語版)



結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境づくり

結婚から子育てまでを社会全体で支援する環境づくりに取り組みます。

結婚を望む男女のニーズに応じたサポート体制を強化し、婚活イベントへの支援や、結婚を希望する男女のためのマッチングシステムの構築などに取り組みます。

保育士の短時間勤務といった柔軟な働き方の実現に向けた取組や、県内の保育所等で働く魅力の発信などを通じて、保育環境の充実を図ります。

「あおもり働き方改革推進企業」を増やすなど、結婚や子育てを応援する企業の拡大に取り組みます。

未来へつなぐ「地域のゆりかご」プロジェクト

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる
青森県づくりをめざします。

>>> 県民の皆さんが、生まれ育った地域で生きがいを持って働き、元気に老後を迎えられるよう、地域住民が支え合う仕組みづくり・人づくりを進めます。

>>> 身近なところで安心して医療や保健サービスが受けられる環境づくりや、地域公共交通を始めとする移動手段の維持・確保などに取り組みます。

持続可能な地域づくり

地域経営体による地域貢献活動の促進や、
地域を支える担い手の育成に取り組みます。

地域住民の皆さんが、見守り、買物、配食などの生活支援サービスの提供を始める支援を行う
ほか、行政と地域のつなぎ役となる中間支援組織の活躍促進に取り組みます。



移動支援



買物支援



配食支援

保健・医療・福祉体制の充実

地域医療や介護・福祉を担う人財を確保・育成するとともに、
生活支援サービスの充実につながる地域主体の取組などを促進します。

高齢者の「介護予防・生活支援・社会参加」につながる「つどいの場」の拡充に向けて、関係者間のネットワークづくりや、専門人材の育成に取り組みます。

貧困などの課題を抱える家庭を支援するため、介護保険施設など既存の社会資源を活用して
学習支援や食事提供を行う「子どもの居場所」づくりを促進します。

交通ネットワーク形成・買物支援の推進

地域公共交通ネットワークの構築や
産直施設を核にした農産物等の集配体制づくりに取り組みます。

生活交通が不便な地域での通院や買物のための移動を容易にするため、MaaS[※]の考え方を
活用した移動支援モデルの構築について検討します。

(※) Mobility as a Serviceの略。鉄道、バス等の交通サービスを統合し、一括して提供するサービス。
例：スマホのアプリを通じてルート検索、予約、決済できるサービス等。

産直施設と市町村や地域バス等が連携して、高齢農家の農作物の集荷や商品の配達を支援
する仕組みをつくります。

多様な主体・人財の参画・協働

地域づくりを支える担い手の確保・育成、
女性や高齢者など多様な人財が活躍できる環境づくりに取り組みます。

地域の新たな担い手として、地域外に住みながらスキルを生かして地域の課題解決に関わる「関係人口」を増やしていきます。

これまで育成した県内各地のリーダー的人財が、次の人財を育成する仕組みを確立するため、
研修会や交流会を開催するほか、民間団体等の人財育成の取組を支援します。

障害者の農業就労機会の拡大に向け、農業側と福祉側双方における農業ジョブトレーナーの育成や、
地域段階におけるワンストップ窓口の構築など農福連携の取組を進めます。



健康ライフ実現プロジェクト

健康・長生きで、誰もが生き生きと暮らせる青森県をめざします。

>>> 県民が健康かつ長生きで、活動的に暮らしていくことができるよう、市町村や企業などと連携・協力しながら、県民の健康意識の向上に取り組みます。

>>> 県民が心身ともに健康的な生活を送ることができるよう、食生活や運動など生活習慣の改善、こころの健康づくりなどに取り組みます。

県民の健やか力向上

県民の健康意識の向上や健康的な生活習慣の定着、健診受診率の向上などに取り組みます。

働き盛り世代とその家族の「がん検診」を推進するため、職域におけるがん検診の実態把握と対策の検討を行います。

県民が安心して医療を受けられるよう、医療を取り巻く環境の変化や各種制度を県民に分かりやすく伝え、「上手な医療のかかり方」の実践につなげます。

糖尿病の早期発見・早期治療による重症化予防に向け、AIを活用した効果的な受診勧奨に取り組みます。

職場における健康づくりの意識啓発を行います。

喫煙・受動喫煙が健康に与える影響について県民や事業者者に周知するとともに、事業者の喫煙・受動喫煙防止対策を推進します。



「食」と「運動」で健康

減塩や食育の推進などによる食習慣の改善、スポーツを活用した健康づくりなどに取り組みます。

運動・肥満対策の観点から、働き盛り世代をターゲットに、運動習慣の改善や健康増進に向けたキャンペーンを展開します。

だしのうま味で美味しく塩分控えめをめざす「だし活」と、野菜をたくさん食べて塩分を排出する「だす活」を運動させ、効果的な減塩対策を推進します。

子どもが「楽しい」と思える体育の授業や、子どもが手軽に楽しく取り組める運動プログラムの作成など、子どもの体力向上と運動時間の増加に取り組みます。



だしのうま味で塩分ひかえめ 野菜のカリウムで塩分排出

だし活 + だす活



こころの健康

こころの病に地域全体で早期に適切な対応ができる体制づくりを進めます。

「誰も自殺に追い込まれることのない青森県」を実現するため、高齢者の居場所づくり支援、壮年期男性のメンタルヘルス対策、子ども・若者への相談支援など、要因に応じた支援体制の強化や、特性に応じた自殺防止対策を進めます。

分野ごとの取組

環境分野 ～自然との共生、低炭素・循環による持続可能な地域社会～

自然と共生する「暮らし」や「生業」を育む環境づくり

- 世界自然遺産白神山地の価値と魅力を県内外に発信し、県民の誇りと愛着の醸成、海外からの誘客を促進します。
- 農林水産業の基礎となる「水資源」を保全・継承していくため、小学生が水循環について学習する機会の充実や、生産者・消費者への情報発信に取り組みます。

県民みんながチャレンジする低炭素・循環型社会づくり

- 「COOL CHOICE あおもり」を合言葉に、スマートムーブや住まいでできるエコ活など、地球温暖化対策について「意識向上」から「実践行動」へとステップアップさせる取組を推進します。
- プラスチックごみの削減と資源循環の活性化に向けて、「海ごみゼロキャンペーン」や、イベントでのリユース食器利用モデルの創出などにより、気運醸成と行動促進に取り組みます。



教育・人づくり分野

～生活創造社会の礎～

あおもりの未来をつくる人財の育成

- グローバル社会を主体的に生き抜く人財を育成するため、英語教育推進リーダーの育成や、本県と台湾の高校生による相互交流を行います。

あおもりの活力をつくる文化・スポーツの振興

- 第80回国民スポーツ大会(2025年開催)に向け、選手の発掘・育成・強化や、指導者の養成・資質向上など、競技力の向上に取り組みます。



産業・雇用分野

～しごとづくりと所得の向上～

ライフ・グリーン分野の産業創出

- 産業分野で発生する未利用熱など、地域に存在するエネルギーを有効に活用する仕組みづくりを通じて、光熱費等の削減といった本県の課題解決につなげます。

「経済を回す」ための基盤づくり

- 国内航空の冬季利用促進などの取組を通じて、航空利用者の増加とネットワーク拡充による本県活性化の好循環につなげます。



安全・安心、健康分野

～命と暮らしを守る～

災害や危機に強い人づくり、地域づくり

- 女性防災リーダーの地域防災活動への積極的な参画を促し、女性の視点を取り入れた防災対策を推進します。

安全・安心で快適に暮らせる生活環境づくり

- 防犯情報発信ツール(防犯アプリ)を開発・運用し、身近な犯罪等の迅速な情報提供などにより、地域の防犯力を強化します。

- 高齢者の交通事故防止のため、高齢者が多く訪れる調剤薬局や、高齢者の健康づくりの場を活用した啓発活動を推進します。



TOSEI AREA

東青地域県民局

青森市、平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町

これまでの取組の成果

超高齢地域のやる気・その気を引き出し、元気な地域を実現

「自然、歴史・文化、食」を活かした地域づくりの活動を継続・発展させていくため、地域づくり団体等が自ら情報発信を行うことができるよう、マニュアルを整備したほか、それぞれの地域資源を持ち寄ったイベント等を開催しました。



地域が持ち寄るサミット

地域農業を担う集落営農法人の体制強化

集落営農法人の持続可能な生産体制を構築するため、集落営農ビジョンを策定し、法人間のネットワーク化による人材や機械・施設等の効率的な活用等、連携の必要性についての意識を醸成したほか、高収益作物の導入を促進しました。



高収益作物の栽培検証

2020年度の取組

2020年度当初予算 事業数 4事業 事業費 1,403万円

「半島」と「岬」を活かした誘客促進

東青地域の特徴的な地形(津軽半島・夏泊半島とその岬)を活かし、2つの新幹線駅(新青森駅及び奥津軽いまべつ駅)を中心とした周遊ルートの創出、オリジナルグルメの開発等を行い、観光と食を組み合わせる効果的に誘客を促進します。



働き盛り世代の健やか力向上

早世(若くして亡くなること)の減少と、平均寿命の延伸をめざし、管内の農協・漁協を対象とした健康課題共有のための講話や、事業所を対象とした個別訪問・トップセミナーを実施し、働き盛り世代の健やか力向上に向けた取組を推進します。



その他

- 東青の「もの」・「こと」・「人」つながる地域の魅力発信事業
- 東青農業・農村の次世代担い手確保支援事業

市町村の人口減少対策への独自支援

(2019年度の主な取組)

青函ツインシティ推進事業(青森市)



青函まつり交流事業

CHUNAN AREA

中南地域県民局

弘前市、黒石市、平川市、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村

これまでの取組の成果

「津軽のミニトマト」の産地力強化に向けた取組

全国的にミニトマトの生産が拡大する中、省力技術の導入や新規生産者の早期技術習得に向けた活動を展開しました。自動施肥かん水装置やUターン誘引などの省力技術の導入が進み、作付面積の拡大や、新規生産者の技術力向上によりミニトマトの出荷量が増加し、2年連続で販売額8億円を達成しました。



自動施肥かん水装置組立て教室での実習

地域課題に取り組む主体を育成

人口減少に伴い多様化する地域課題に取り組む主体を育成、強化するため、持続可能な地域づくりについて考える「中南地域力強化フォーラム」を開催したほか、移住促進、空き家利活用、事業承継など様々な地域課題についてのワークショップを実施しました。



地域力強化フォーラムの様子

2020年度の取組

2020年度当初予算 事業数 6事業 事業費 1,635万円

地域主導で「うるしの森」の造成体制を整備

国産漆の需要が急増する中で、津軽塗への県産漆の安定供給を図るため、苗木生産技術の普及やモデル林の設置などに取り組み、「うるしの森」の造成体制を整備します。



「古津軽」ムーブメントの創出

古くから地域に息づく祭りや信仰、芸能、食文化に田舎らしい素朴な風景が広がる新たな観光ブランド「古津軽」による観光を推進するため、モデルコースの開発やPRを行うとともに、食事やお土産など、「古津軽」を生かしたビジネスモデルを構築します。



その他

- りんご産地を守る労働力確保推進事業
- 中南地域ものづくり企業等若手人材確保事業 など

市町村の人口減少対策への独自支援

(2019年度の主な取組)

平川市イルミネーションプロムナード事業(平川市)



平賀駅前広場を華やかに彩る台湾提灯

SANPACHI AREA

三八地域県民局

八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村

これまでの取組の成果

ものづくりのまちの「しごと」と「暮らし」を発信

若者の県内定着を促進するため、高校生がインターンシップの中で、仕事を体験しながら、先輩社会人に対し地元企業の「魅力」とその地域を選んだ「決め手」等取材しました。情報発信や施設見学、意見交換等を通じて、地域の企業と生徒・学生の相互理解を促進する取組を実施しました。



情報発信の取組参加者(高校生と企業担当者)

「軽量野菜」の作付け拡大に向けた取組

農業者の高齢化が進むなか、高齢者でも扱いやすい「軽量野菜」の栽培を進めるため、実証ほの設置による省力的な栽培方法の検討や先進事例の収集、軽量野菜導入農家の経営調査による導入モデルの作成を行いました。調査等で得られた結果については、パンフレットにまとめて配布したほか、セミナーを開催し周知しました。



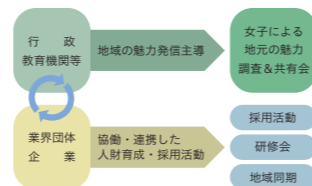
ピーマン実証ほでの現地検討会

2020年度の取組

2020年度当初予算 事業数 5事業 事業費 1,536万円

女子目線による情報発信で若者の地元定着を促進

地域の中小企業と行政機関等が連携して、まちぐるみで若者の県内定着に向けた機運を醸成していくとともに、三八地域の学校に通学する女子の目線を活用し、地元の魅力ある充実した生活について情報発信を行い、人財定着を進めます。



ICTを活用し 個体管理の効率化と疾病対策を推進

モデル市町村でICTシステムを活用した雌牛の個体情報のデータベース化を行うとともに、関係機関との連携を強化し、個体管理の効率化と組織的な疾病対策を推進します。



その他 ● 歴史を紡ぐ三八地域広域観光事業 ● 三八地域働く人の健康づくり応援事業 など

市町村の人口減少対策への独自支援

〈2019年度の主な取組〉
「11ぴきのねこのまち」プロモーション事業(三戸町)



11ぴきのねこ人形劇

SEIHOKU AREA

西北地域県民局

五所川原市、つがる市、鯉ヶ沢町、深浦町、板柳町、鶴田町、中泊町

これまでの取組の成果

「青森県型地域共生社会」の実現に向けた取組

(一社)七和まちづくりネットワークと連携し、「青森県型地域共生社会」の実現に向けて、地域住民の意識醸成に向けた勉強会の開催や、地域資源を活用して外貨を獲得し、獲得した外貨を原資とした身近な課題解決を図る仕組みの検討・実証等に取り組んでいます。



七和地区お出かけサービス(実証例)

高齢化・労働力不足に対応した西北型水田農業の推進

大区画整備事業が進む中泊町十三湖地区で、高齢化や労働力不足に対応した水田農業を確立するため、大規模稲作のスマート農業一貫体系による省力化や、排水性が確保された水田での野菜導入による経営安定化の実証に取り組み、農業散布用ドローンの高い作業効率を確認されています。



自動直進田植機による田植え

※大規模稲作の一貫体系については、農林水産省「スマート農業実証プロジェクト」(事業実施主体:農研機構)の支援により実証しています。

2020年度の取組

2020年度当初予算 事業数 5事業 事業費 1,962万円

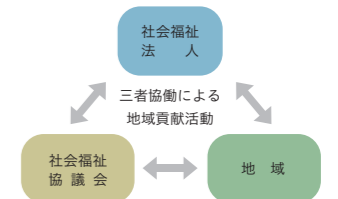
「ランニング×観光」で新たな誘客促進

ランニングしながら、岩木山・田園風景などの自然豊かな景色を楽しみつつ、観光名所や道の駅などを巡る観光周遊ルートを作成し、新たな旅行客層の誘客につなげます。



多様な担い手の確保に向けた社会福祉法人の連携

多様な地域の担い手確保対策の一環として、社会福祉法人による地域貢献活動を促進していくため、社会福祉法人の連携体制構築や地域のニーズ調査、専門アドバイザーの派遣等を行います。



その他 ● ナラ等広葉樹の伐採・利用モデル構築事業 など

市町村の人口減少対策への独自支援

〈2019年度の主な取組〉
縄文遺跡群の世界遺産登録実現に向けた理解促進事業(つがる市)



JOMON亀ヶ岡遺跡まつり(土偶作り体験)

KAMIKITA AREA

上北地域県民局

十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町

これまでの取組の成果

地域の魅力をより深く外国人観光客に伝えるために

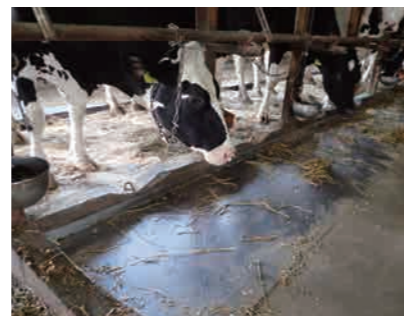
十和田湖奥入瀬エリアを中心とした上北地域を訪れる外国人観光客に地域の魅力を伝え、滞在型観光を促進するため、地域で外国語の話せる人財を対象とした「外国語ガイド養成講座」を開催したほか、観光コンテンツの磨き上げや外国人向けガイドマップの作成等を行いました。



外国語ガイド養成講座(実地研修)

酪農の経営継続に向けた牛舎環境の改善

高齢化や労働力不足の酪農家の経営継続をサポートするため、関係機関による先進事例調査や研修会の開催等で、地域の労働力確保に向けた体制づくりを支援しました。また、専門家による牛舎の改善点の洗い出しや、作業がしやすく生産性の向上にも寄与する牛舎改修のモデル実証に取り組み、その効果を検証しました。



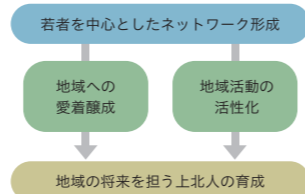
改善事例(作業しやすく衛生的な飼槽)

2020年度の取組

2020年度当初予算 事業数 6事業 事業費 1,471万円

上北の若者が躍動する地域づくりを支援

地域の担い手を育成するため、管内の若者を中心としたネットワークを形成し、地域づくりに取り組むためのスキル習得に向けた講習会を開催するなど、実践活動につなげる支援を行います。



海岸防災林を大切に育て、次世代へ

植栽が完了した海岸防災林を大切に育て、次世代につないでいくため、ボランティアによる環境美化イベントや、地域住民によるワークショップ開催など、住民をはじめ多様な主体による育林活動を推進します。



その他

- 消費者に選ばれる上北そばの生産・消費拡大推進事業
- かみきた肉用牛高能力化対策事業 など

市町村の人口減少対策への独自支援

〈2019年度の主な取組〉

移住・交流事業(十和田市)

首都圏における移住相談・交流会の様子



SHIMOKITA AREA

下北地域県民局

むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村

これまでの取組の成果

下北地域への観光客の増加に向けた取組

市町村及び観光事業者等と連携し、下北版滞在型観光メニューを造成したほか、「下北ジオパーク」などのドローン映像を多用したPR動画等を作成しました。また、外国人観光客の受入環境整備のため、業態別の英語接客マニュアルの作成・演習を行ったほか、台湾からの誘客を図るため、旅行会社の招請等に取り組みました。



英語接客セミナー演習

新規就農者「農業力」養成塾の開催による人財の育成

新規就農者の栽培技術や経営管理能力等の向上を図る研修会や、先進地視察研修を開催したほか、省力化や良品安定生産に向けた実証ほの設置、アドバイザーによる新規就農者からの相談への支援等により、下北地域の農業を担う人財育成に取り組みました。



夏秋いちご先進地研修

2020年度の取組

2020年度当初予算 事業数 5事業 事業費 1,065万円

漁具に発生するコンブを活用してウニを周年生産

下北の磯焼け場の空ウニに、漁具に発生する天然コンブを活用することで、身入りを良くするための継続的な給餌技術や天然コンブが少ない秋から冬の飼料確保などの課題を解決し、ウニの周年生産を可能にするモデルを実証・構築します。



モニタリングデータを活用して子どもの肥満対策を推進

保育所が取り組む子どもの成長モニタリング(肥満度算出)データを活用し、幼児期から肥満傾向児に個別指導する体制を構築するとともに、子どもたちの家庭での食事や弁当の実態把握等を通じ家庭でのバランスのよい食事をサポートします。



その他

- 下北地域関係人口構築事業
- 持続可能な下北の畜産業構築事業 など

市町村の人口減少対策への独自支援

〈2019年度の主な取組〉

東通天然ヒラメ刺身重のリニューアル&プロモーション戦略事業(東通村)

東通天然ヒラメ刺身重





「北海道・北東北の縄文遺跡群」は 2021年の世界文化遺産登録をめざしています

青森県が、今まで以上に、愛着と誇りを持てる地域へ、そして、日本、世界からその価値を認められる地域へと進化していくことをめざし、チャレンジを続けていきます。

Local to World

世界から「選ばれる青森」をめざして

SDGs×Aomori

青森県は、SDGsの理念を踏まえて取組を進めます

2015年国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための国際目標SDGsは、本県が世界に向けた取組を更に進めていくためにも重要な考え方であり、SDGsの理念を踏まえながら取組を進めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



青森県地図

凡例 [2020年3月現在]

- 高規格幹線道路
- 地域高規格道路
- 有料道路
- 4 国道
- 主要道
- その他道路
- 新幹線
- 在来線
- 民営鉄道
- 市町村庁舎

